

2010年9月21日

報道関係者各位

慶應義塾大学 SFC 研究所内
汐留イノベーションスタジオ事務局

慶應義塾大学 SFC 研究所と電通の共同研究プロジェクト「汐留イノベーションスタジオ」
ジブン CM が作成できる『ClipCM』の新バージョン開発
～コミュニケーション機能を強化し、加えて「おちょこレシピ」アプリのサービス提供も開始～

慶應義塾大学 SFC 研究所(本部:神奈川県藤沢市、所長:金子郁容、以下 SFC 研究所)、株式会社電通(本社:東京都港区、代表取締役:高嶋達佳、以下電通)は、共同研究を通し、次世代型事業シーズの創造と発信を行っていくために立ち上げたクリエイティブ・ユニット「汐留イノベーションスタジオ」(以下 SIS、URL <http://sis-web.jp>) (※1)において、コミュニケーション機能を強化した新しいバージョン『ClipCM ver2.0』(iPhone/iPod touch 対応)と、ClipCM の仕組みを活用した 15 秒 4 コマ動画の料理アプリ『おちょこレシピ』(iPhone/iPod touch 対応)をリリースいたしました。

これらは、SIS の活動第一弾として平成 22 年 7 月 7 日にリリースした『ClipCM』(URL <http://clipcm.com>) の好評を受け開発したものです。

1.今回リリースのアプリの概要

『ClipCM』は、ユーザー個人が撮った写真を4枚選び、装飾したり、動かしたりするだけで、「自分の趣味の世界」や「家族の様子」、「今日起きた出来事」などを、4 コマのオリジナルストーリーとして作成できるアプリである。App Store のおすすめにもピックアップされ、リリースから 15 日間でダウンロード数 5 万件を超えた。また、全カテゴリ総合(無料)9 位にランクイン、ユーザーレビューでも高評価を獲得した。今回のリリースはそれを受け、実施するものである。

■『ClipCM ver2.0』

自分の作った作品をコミュニケーションツールとして楽しめるような機能を拡充、自分の作った作品を YouTube にアップロードできる機能を搭載した。またアプリ上で簡単に Twitter に投稿したり、メールを送って友達や家族にアップされているアドレスを伝え、作品を公開したり共有したりが可能となった。

■『おちょこレシピ』

SIS では『ClipCM』の仕組みを活用し、15 秒の 4 コマ動画で様々な情報やノウハウなどを簡単に楽しめるコンテンツとして、まずは「料理」というテーマに着目、料理家の渡辺有子さんとのコラボレーションによる、iPhone/iPod touch 向けアプリ『おちょこレシピ』(おちょこを器にした、簡単でかわいらしい料理レシピ)をリリースする。

今後も、アプリの機能拡充や、仕組みを活用したアプリの開発を引き続き行っていく。また、様々なスマートフォンへの対応を検討していく。

2.『おちょこレシピ』の概要

おちょこを彩る、新感覚のプチディッシュ『おちょこレシピ』は、本企画に賛同いただいた料理家の渡辺有子



さんによる、21のバラエティ豊かなレシピを納めたアプリである。iPhoneをシェイクすると、冷菜・温菜・デザートのコースがランダムにセレクトされる。また、気になる料理が見つかったら、4コマ15秒の動画で一通りの流れをチェックできる。より詳細な作り方や必要な食材が見たい場合は、一覧からまたは1コマずつ順に確認することも可能。詳細は、ClipCM公式PCサイトを参照。

3.『ClipCM ver2.0』および『おちょこレシピ』アプリの画面イメージ



■『ClipCM ver2.0』および『おちょこレシピ』アプリのご利用条件

iPhone/iPod touch OS 3.1以降

■『ClipCM ver2.0』および『おちょこレシピ』アプリの入手方法

iPhone/iPod touch 端末もしくは iTunes から App Store にアクセス、『ClipCM』もしくは、『おちょこレシピ』と検索して、インストール。

※ 1 汐留イノベーションスタジオ (SIS)

「汐留イノベーションスタジオ」では、「情報流通プラットフォーム」「コンテンツの価値創造」「未来視点のソーシャル活動支援」などをテーマにした事業シーズの発掘、新しいプロダクトやサービスのプロトタイプの開発や実証実験を行っています。実証実験サービス『ぶちドネ』(平成22年7月1日リリース)、パパと子どものおもちゃを創る『PaPaCo Design Project』(同9月15日リリース)も、一連のSISの活動となります。様々な活動の詳細は、公式PCサイト(URL <http://sis-web.jp>)で随時発信しています。

ご取材の向きは、事前に下記までご一報下さいますようお願い申し上げます。

■本発表資料のお問い合わせ先

汐留イノベーションスタジオ事務局(伊藤)

慶應義塾大学 SFC 研究所内 e-mail: kenjiito@dmc.keio.ac.jp

<http://www.kri.sfc.keio.ac.jp/>